

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2015年3月20日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒732-0811 広島市南区段原2-15-5 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.37

<生徒ガイダンスをしよう!>

今回は、「生徒ガイダンス」についてお伝えします。4月になれば、新生生が多数入塾してきます。そんな時期に、教務的にも運営的にも有効なのが、この「生徒ガイダンス」です。生徒の自立学習を促すためのモチベーション向上策、それが、生徒ガイダンスです。

1. 生徒ガイダンスとは

「ガイダンス」とは何でしょうか。「大辞林」によると次のような説明があります。

- ① 指導。特に、ある事柄について初心者に入門的説明を与えること。
- ② 生活・学習のあらゆる面にわたり、生徒が自己の能力や個性を最大限に発揮しうるように助力・指導すること。
- ③ 進路や行動の方針の選択・決定にあたり、助言・援助すること。

つまり、「生徒ガイダンス」は、『生徒が学習において最大限の力を発揮できるように、授業・教科・進路などについて説明したり、考えたりする機会』です。

授業の中でこのような機会を設けることもあります。通常、「生徒ガイダンス」は、授業外で時間を設定して企画します。

特に個別指導の教室ではこのような企画で、集団指導的なアプローチを行うことで、教室運営がだんだんと楽に出来るようになります。

2. 生徒ガイダンス実施の意味

「生徒ガイダンス」を行う意味は何でしょうか。他の業務で忙しい中、どうしてわざわざ「生徒ガイダンス」を行うのでしょうか。

ところで、生徒たちは何のために日々勉強をするのでしょうか。もちろん、先生はその疑問に答えることができるでしょう。

しかし、生徒はどうでしょうか。「宿題を忘れると先生に怒られるから」、「親が塾に行けと言うから」、そんなマイナスな理由で勉強している生徒も少なくありません。勉強をする真の目的を見失ったまま、目の前に与えられた学習をこなすだけでは、

勉強が嫌いになって当然です。

生徒たちがやる気を持って勉強するためには「何のために勉強するのか」、「勉強した結果、自分がどうなるのか」、つまり、勉強する「意味」や「目標」が必要なのです。勉強はあくまで手段であり目的ではないからです。

つまり、「生徒ガイダンス」の意味の1つは、勉強する意味を知り、目標を確認する場なのです。

そして、「生徒ガイダンス」には、もう1つの意味があります。

「生徒ガイダンス」は、生徒たちに学習のスキルを与える場でもあるのです。勉強の意味、目標を知った彼らはやる気が高まっています。しかし、自己流で効果的でない勉強を続けていては思うような結果は出ません。

そこで「生徒ガイダンス」を実施し、「効果的な勉強の方法」、「学習環境の整え方」、「役に立つ教材」などを指導するのです。つまり、「生徒ガイダンス」は学習のスキルを与える場でもあるのです。

まとめます。「生徒ガイダンス」は、生徒が勉強する意味や目標を確認し、学習のスキルを知る機会です。そのことによって生徒のモチベーションを向上させるのです。やる気を高め、自ら進んで勉強しようとする態度を育てるのが「生徒ガイダンス」を行う意味です。生徒の自律学習のために「生徒ガイダンス」は必要不可欠なのです。

3. 「生徒ガイダンス」実施のオペレーション

それでは、「生徒ガイダンス」を実施するにあたり、どのような流れで、何を準備していけばよいのでしょうか。当日までの流れ、実施後に行うことを確認してみましょう。

① 生徒向け案内／保護者向け案内配布

(遅くとも実施当日から3週間前には、案内配布)

□ 生徒向け案内には、全員参加を呼びかけ、非常に重要な会であることを強調する。

保護者向け案内では、特別な会なので安易な欠席はさせないように呼びかける。

友人参加も可能であることを両方の案内に記載しておく。
生徒には友人を誘ってくるように呼びかける。

(この項目は、4月の「生徒ガイダンス」不必要。講習前のガイダンスで行うのが、好ましい)

②情宣活動（授業中には、事ある毎に告知する）

案内配布と共に、教室、ブース、廊下に告知の掲示し、常に生徒の目に留まるようにする。

③事前欠席チェック

(みんなの前で確認して、この会が重要であることをアピールする。)

事前にどうしても「生徒ガイダンス」に出席できない生徒を把握し、欠席者には後日資料を渡す。

④資料の準備とリハーサル

「生徒ガイダンス」で使う資料、決意文を書く用紙を準備する。
講師や新人職員が話す場合は、当日までにリハーサルし、内容チェックを行う。

⑤決意文の回収（生徒ガイダンス実施後）

宿題としていた「決意文」を回収する。
忘れた生徒への指導。
決意文のコピーを取り、保護者面談の際、保護者へ渡す。

⑥活動報告

当日の様子を報告する掲示物を作成する（当日は必ず写真を撮る）。
塾通信で保護者に向けて「生徒ガイダンス」の報告を行う。

まずは実施が決まったら、対象となる在籍生の全員出席を目指します。生徒には、「なるべく参加」というような曖昧な表現ではなく、「大切な会だから全員参加する」ということを強く言います。

その後も、毎授業で各担当教師は「生徒ガイダンス」への絶対参加を呼びかけます。これは、「生徒ガイダンス」に限らず、塾で行うイベントにではすべて同様の態度で臨んでください。指導をした結果、その指導に従わない生徒が多数出たということのないようにします。さもないと、生徒は、「そんなものか!」と思うようになり、その後の塾の指導が伝わりにくくなるからです。

また、実施したら終わりではなく、「生徒ガイダンス」の効果

を持続させるため、決意文の回収を行い、その内容について継続して個別に指導していきます。

例えば、「この前の決意文で、毎日10分は漢字の練習をすると書いていたけど、その後、順調に進んでいる?」という具合に声がけをしていきます。掲示物を作成し、教室に掲示するのも、「生徒ガイダンス」のことを生徒に忘れさせないためです。保護者へアピールするために塾通信で報告するのも忘れないようにしましょう。

4. 最後に

「生徒ガイダンス」は、生徒のモチベーションを高める絶好の機会です。ただし、通常時の授業や生徒対応がしっかりと行われていてこそ、このようなイベントの効果が高まります。

普段の授業で生徒のモチベーションを高めるアプローチをしているのでしょうか?

プラスのアプローチで生徒に接しているでしょうか?

教師はとかく「～禁止!」、「～しないと、ダメ!」、「どうして～なんだ!」などのマイナスのアプローチを取りがちです。あらためて、生徒のできたことを認め、できないときや元気がないときには勇気づけをしてほしいのです。

授業も含めた通常のコミュニケーションの全てが生徒のモチベーションを高める機会だと考えてください(=セルフ・エスティームを高める機会)。その上で、日常の機会をさらに効果的にするために「生徒ガイダンス」を行うのです。是非、このことを忘れずに生徒に接してほしいと思います。

4月には、もう一度仕切りなおしをして、新しいスタートだという雰囲気を教室の中に作ってください。

【あとがき】

MBAメルマガ会員募集中!です。塾経営の戦略・戦術エキストラ(無料)を今ご購入お申込みいただくと2015年度MBA主催「学習塾経営刷新セミナー」を特別価格でご参加いただける特典をご利用いただけます。下記アドレスから「塾経営の戦略・戦術エキストラ購読希望」とお申込ください。

(資) マネジメント・ブレイン・アソシエイツ

TEL: 045-651-6922

eメール mailadm@management-brain.co.jp

担当: 野口

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.1

今月からしばらくの間、当メルマガの本欄を担当させていただくことになりました。学習塾の経営や運営に関連する「数字」についてお話しさせていただく予定です。よろしくお願いいたします。

さて、新年度がもうすぐ始まります。皆さんも目下、新年度生の募集で大忙し、ほとんど寝る暇もないのではないのでしょうか。ところで、新年度生の募集を始めると、気になってくるのが通塾率の問題です。この地域の子どもは一体、どのくらい塾に通っているのか。そのうち、どの程度の割合でウチの塾に来てくれるのか…。

そこで今回は通塾率、とくに中3生の通塾率の問題を取り上げることにしましょう。

ご存知の通り毎年4月20日前後に、文科省の「全国学力・学習状況調査」が行われています。この調査に都道府県別の中3

生（公立中学校のみ）の通塾率の項がありますので、まずは昨年4月22日時点でのそれを見ておくことにしましょう。ではないでしょうか。

上の数値は昨年4月のものですが、おそらく今年もほとんど通塾率に変化はないと思われます。ただし、中3生の数が若干減っているはずですので、中3生数が昨年同日比で大幅プラスなら春の募集は大成功、プラマイゼロならまずはなんとか今年もやっていける、大幅マイナスならこれから大攻勢をかけないといけな、ということが言えるだろうと思います。

いずれにしても3月、4月の生徒の数は、この1年の塾の経営を左右する基本数値です。いま現在がどうであっても、とにもかくにもガムシャラに獲りに行く気概を持っていただきたいと思います。

■全国学力・学習状況調査

都道府県別の中3生（公立中学校のみ）の通塾率

- 全国平均 60.0%
- 公立中学校平均 60.3%
- 国立中学校平均 82.5%
- 私立中学校平均 44.7%
- (ただし調査に回答した私立中は全体の46.8%)
-
- 大都市（公立中）平均 67.1%
- 中核都市（公立中）平均 61.6%
- その他の市（公立中）平均 58.9%
- 町村（公立中）平均 50.7%
- へき地（公立中）平均 32.7%
-

